

リサイクルポートの指定



PORT OF TOKYO

港湾管理者 東京都
 担当部署 東京都港湾局港湾整備部計画課
 連絡先 新宿区西新宿2-8-1
 TEL.03-5320-5628

PORT OF TOKYO



港湾整備の方向性

○東京圏におけるリサイクル処理システムは、処理施設の立地に必要な新たな用地の確保や最終処分場の確保、物流基盤の集積等から、集積港として東京湾臨海部への集中立地による拠点形成が有効である

○このため、静脈物流の拠点となる港湾において、既存ストックを最大限に活用しつつ、物流コストの低減及び環境負荷の軽減に主眼をおいた静脈物流拠点形成を推進することとしている



鉄スクラップの積出

環境に対する取り組み

産業廃棄物適正処理・資源化推進協定

<エコトライ協定>

処 分 業 者

私たち処分業者と東京都は、都民を始めとする人々の生活環境を保全し、安全で安心して暮らせる環境都市東京の実現に努めています。健康で安全な環境の確保と持続可能な社会への変革を、東京から実現していくためには、これからもたゆまぬ努力が私たちに求められています。

私たち処分業者と東京都は、以下のことを約束しました。

- ☆ 環境に負荷を与えない施設の維持管理に努めます。
- ☆ 資源化を推進し、最終処分量の削減に努めます。
- ☆ 地域住民との協調に努めます。

平成19年3月7日

東京都大田区京浜島3丁目5番2号

日栄産業株式会社

代表取締役社長 吉本昌且

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

東京都知事 石原 慎太郎



登録証

登録番号 RE0459

日栄産業株式会社

貴組織の環境マネジメントシステムは、財団法人建材試験センターマネジメントシステム審査登録実施規程に基づき審査した結果、適合と認められましたので、登録いたします。

所在地：東京都大田区京浜島3丁目5番2号

適用規格：ISO 14001:2004/JIS Q 14001:2004

活動、製品及びサービスの範囲：付属書による

有効期限：2009年1月27日

登録日：2006年1月28日

改定日：2006年3月1日

財団法人 建材試験センター
理事長

岩田誠二

岩田 誠二

上級経営管理者

森 幹芳

森 幹芳

東京都とのエコトライ協定

ISO14001認証取得

3R環境大臣表彰受賞



表彰状

中央推薦

日栄産業株式会社殿

貴社は循環型社会形成の
推進のために尽力されその
功績は誠に顕著であります
よってここに表彰します

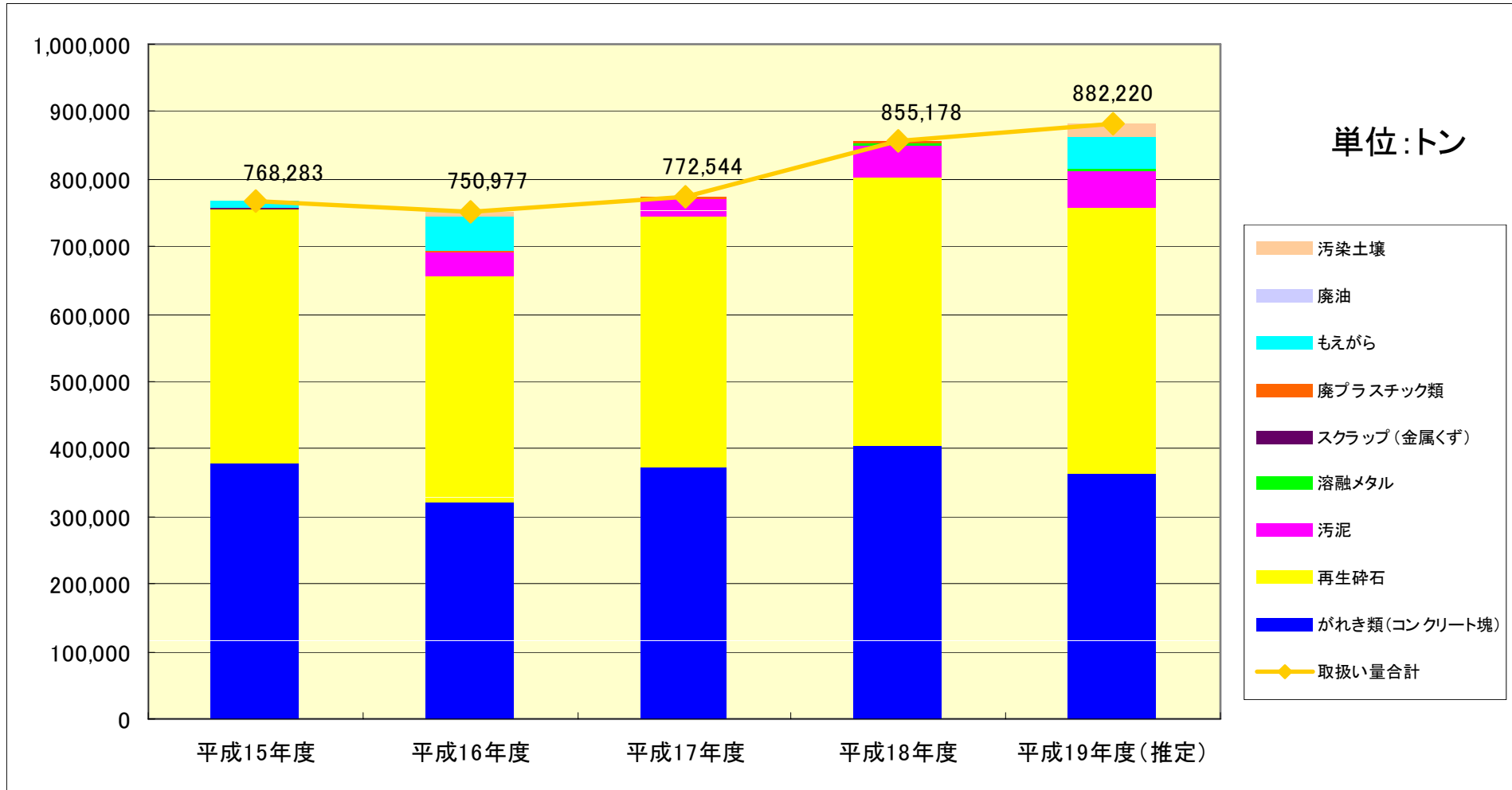
平成十九年十月十八日

環境大臣 鳩山一郎

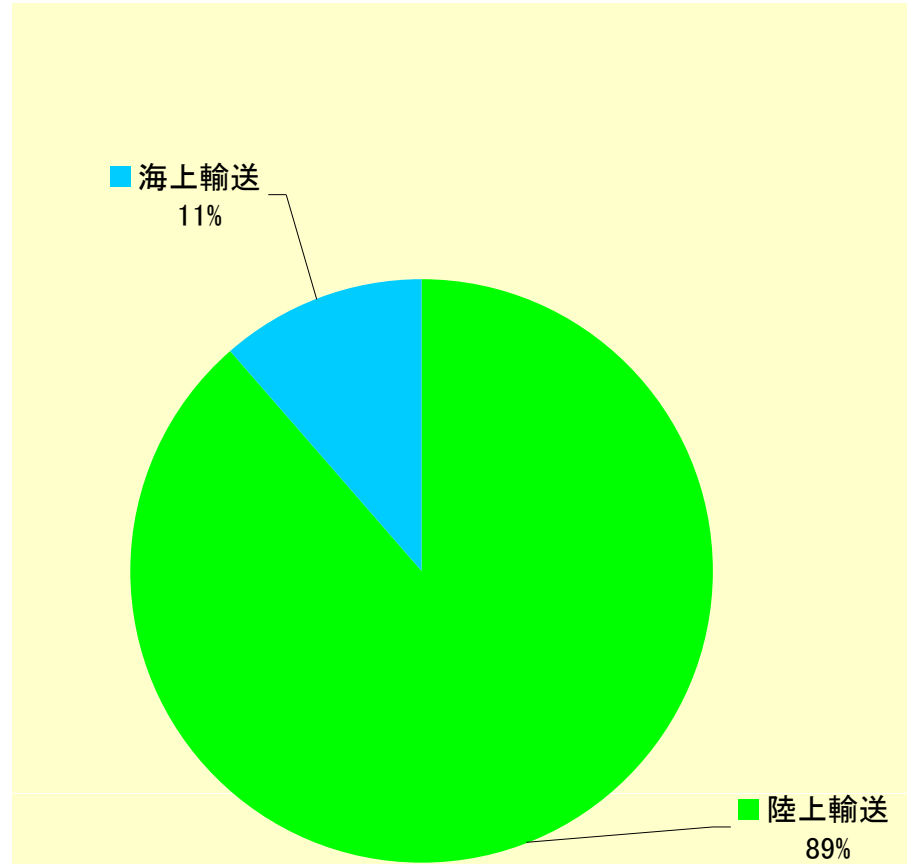
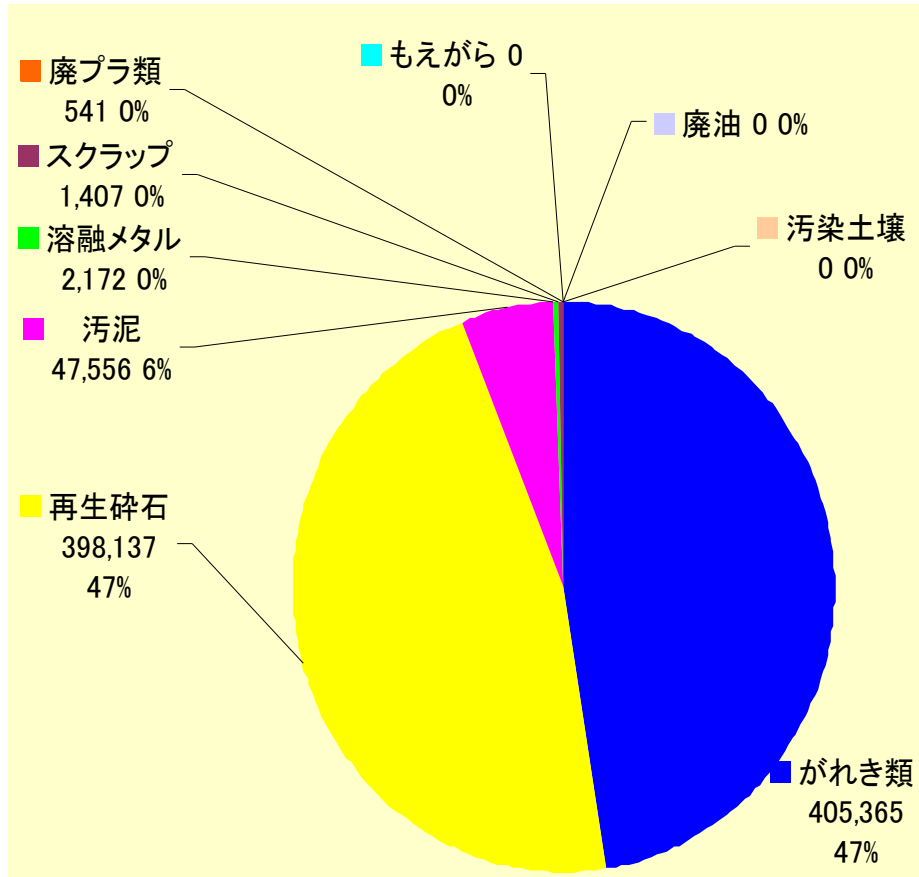


当社の取扱実績

取扱量(入出庫量)

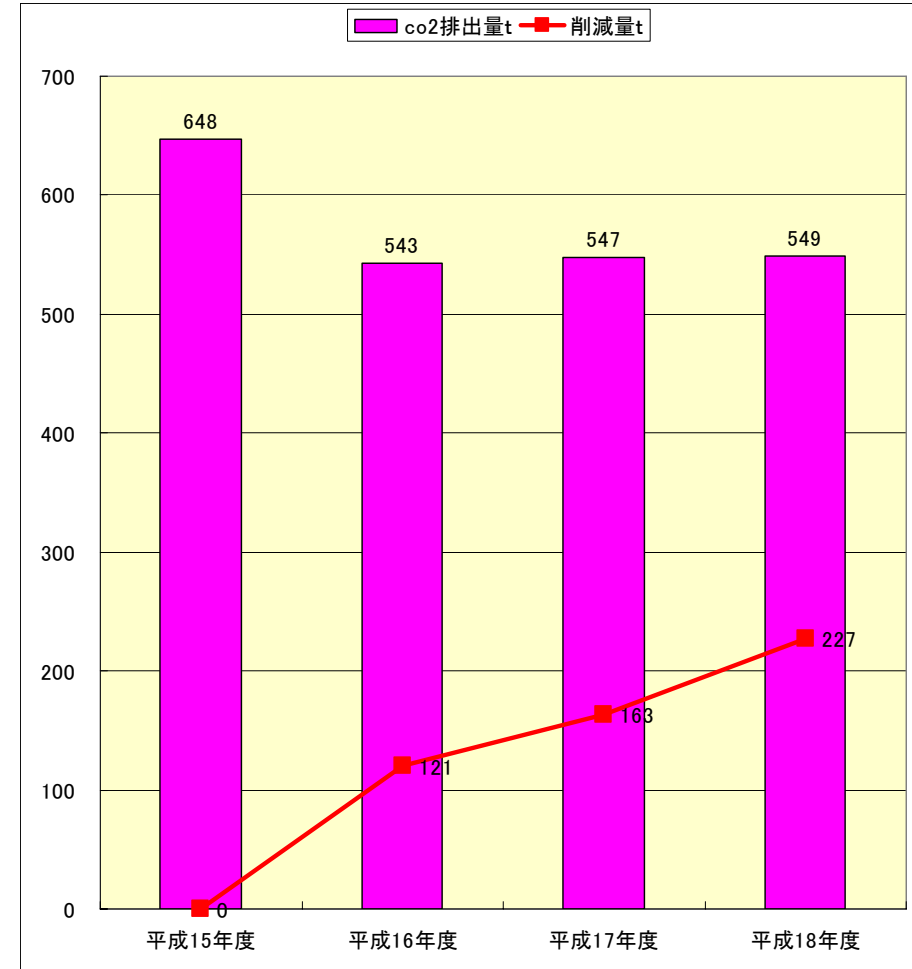
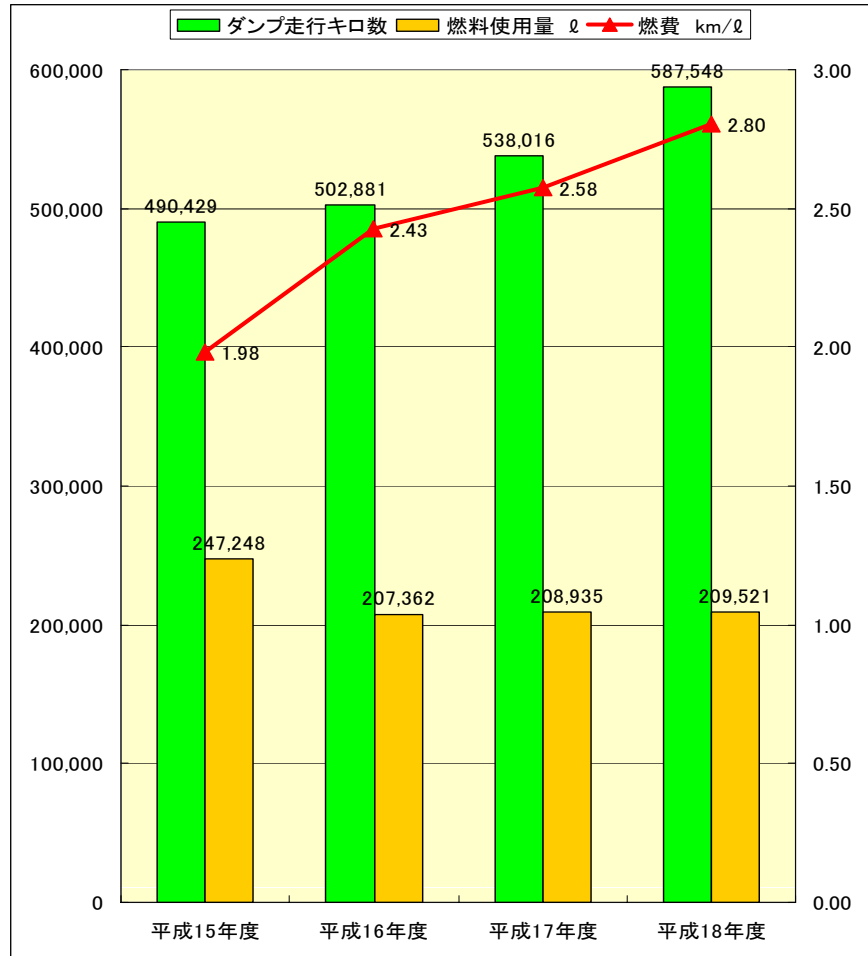


平成18年度内訳



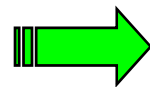
単位:トン:%

当社ダンプの実績



H16. 10よりデジタコの導入

NOx・PM規制対応の為新車の導入



燃費向上
事故削減

CO2排出量・燃費向上に伴うCO2排出低減量

$$\text{CO2排出量t} = (\text{軽油使用量ℓ}) \times (2.62\text{kgCO2/ℓ}) / 1000$$

環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における

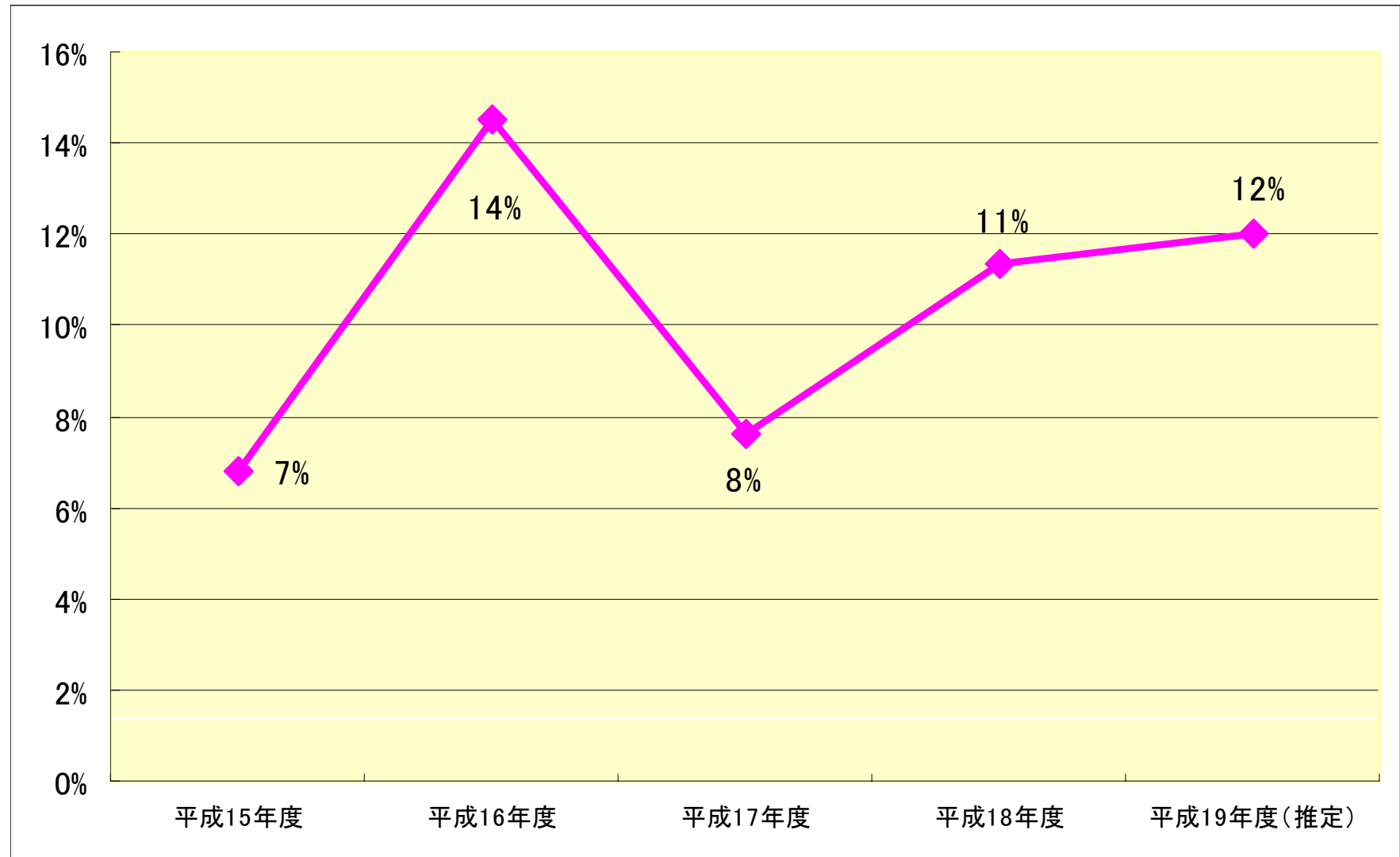
算定方法・排出係数一覧 軽油 2.62kgCO2/ℓ

$$\text{燃費向上にともなうCO2排出低減量t} = (1/A - 1/B) \times (\text{ダンプ走行キロ数km}) \times (2.62\text{kgCO2/ℓ}) / 1000$$

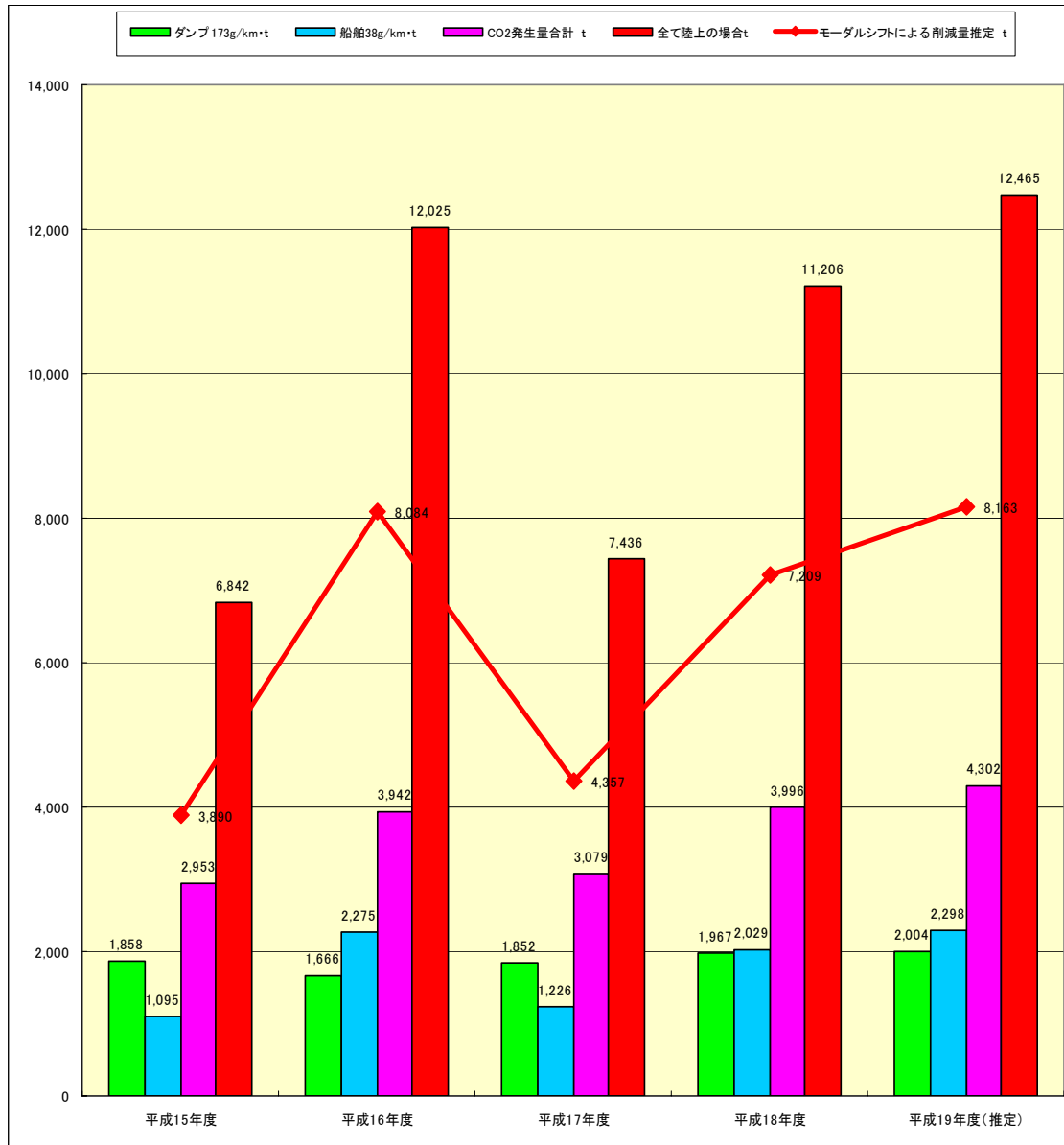
A 平成15年度の平均燃費

B 各年度の平均燃費

海上輸送比率の推移



取扱量(入在庫量)CO2排出量・推定 モーダルシフトによる低減量・推定



平成16年度国土交通白書 1トンの荷物を1km運ぶのに排出するCO2の比較

営業用普通車	173g/km・t
内航船舶	38g/km・t

平成18年度CO2排出量t

	輸送量t	CO2原単位	移動距離 km *	CO2排出量t
ダンプ	758,084	173	15	1,967
船舶	97,094	38	550	2,029
合計	855,178			3,996
モーダルシフトによる削減量t		135	550	7,209
全て陸上輸送の場合				11,206

* ダンプの移動距離15kmは当社実績から仮定

* 船舶の移動距離550kmは東京・大阪間に相当

地球に優しく

地域に優しく

人に優しく